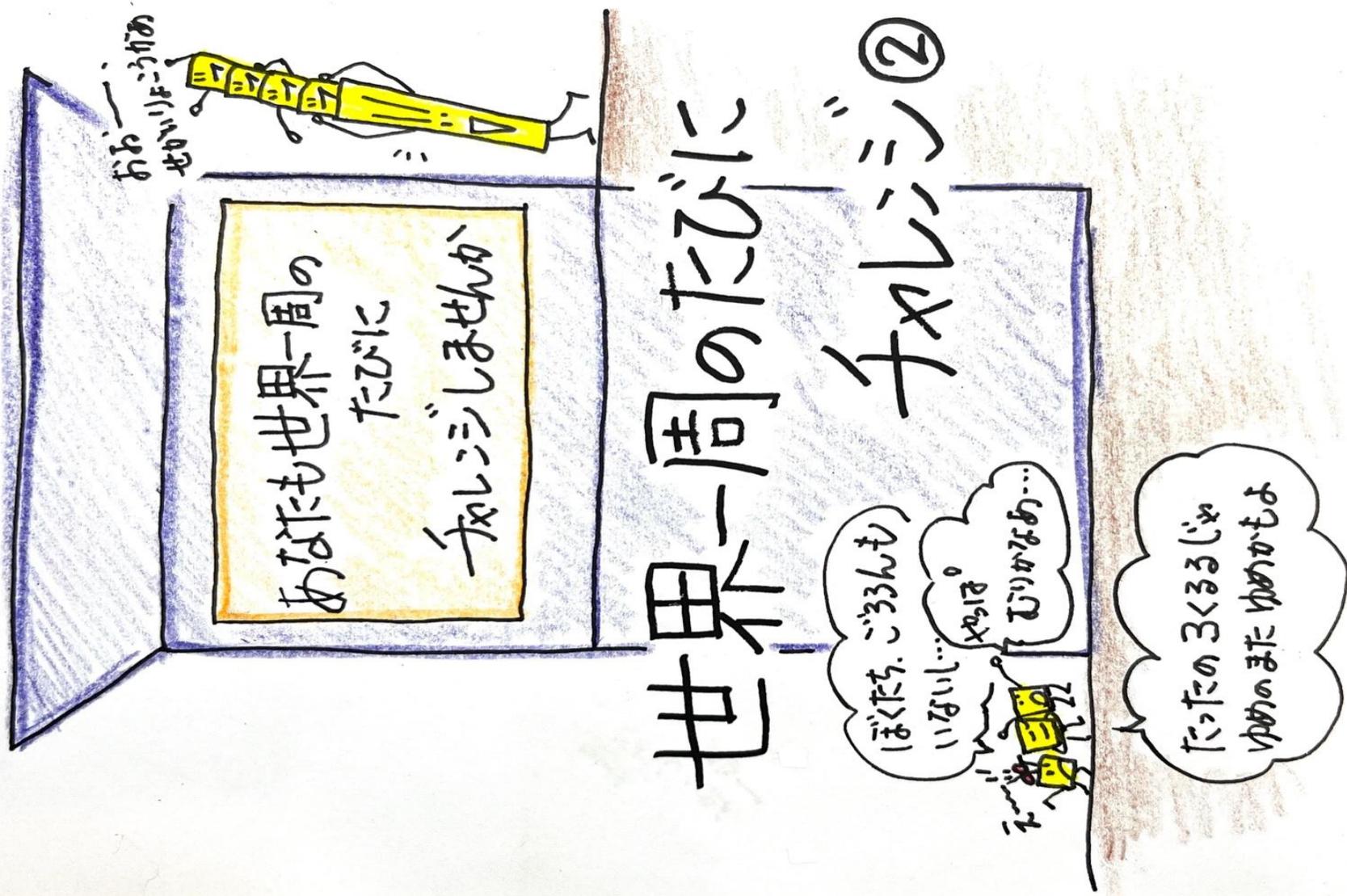
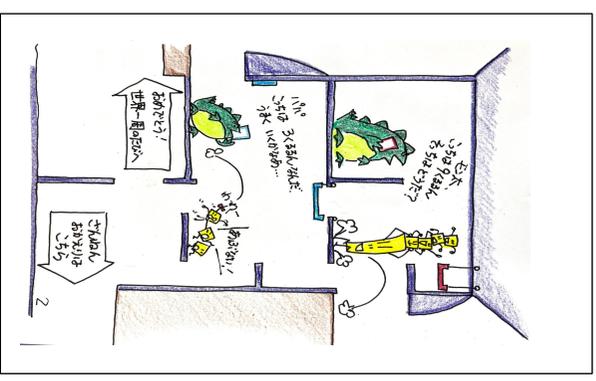


①



作 KURASAWA



**\*中段(2階部分)のト書き**

「パパ、こっちは3ぐるるんなんだ。うまいくかなあ…」

どういうこと？

＜世界旅行に いけない かもしれんって こじやないかな？＞

「あぶない！」 「わ、わ…」

＜あのリボンの子、だいじょうぶう？＞

＜リボンちゃん、やばいよねえ。＞

＜あぶなつかしいね。＞

**\*地下室まで全面見せて、③の絵を上部(2階部分)だけが見えるようにずらす。**



**\*上部(2階部分)のト書き**

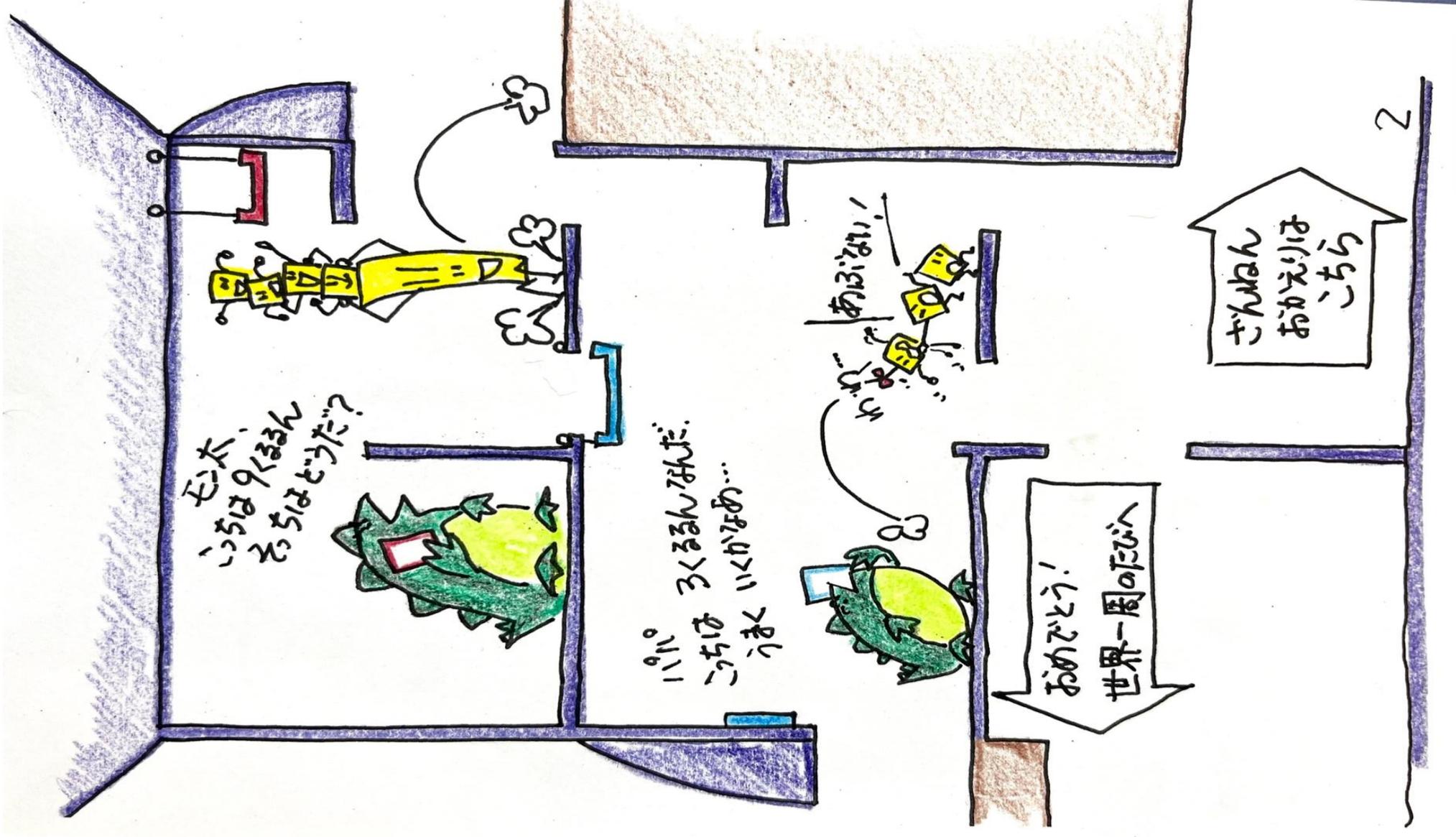
＜すごい！4かたぐるるまで ジャンプしたよ。＞

「モン太、こっちは9ぐるるん。そっちはどうだ？」

**\*1階部分までが見えるようにずらす。**

**② (①の裏)**

2



**\* 下段(地下室)のト書き**

「へんしんしーん！」  
「やったあ♥」「やったあー、世界一周の旅ゲット!!」  
「どうしたこと? 9+3のお話だったから、ごろろんがー人しかなかったよね?」  
「<わかった! みて、ジュース君にリボンがついてるよ!>  
<ごろろんはー人しかいなかったけど、9は4かたぐるまだから、3ぐるんのリボンちゃんでへんしんできたんじゃない?>  
「ごろろんがー人しかいなくても、ジュース君になれちゃうってこと? え? なんで?」  
<だってさあ、4+1で、ごろろんのふたり目が、できるんだよ。ほら、これと、これ!>  
<そうそう。よかったねー。>



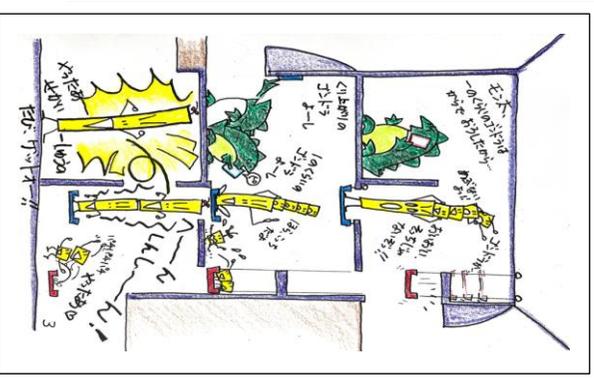
**\* 中段(1階部分)のト書き**

「ばば、りょうかい。繰り上がりのゴンボラ よーし。」  
<そうか、青いのは、くり上がりゴンボラ なんだった。>  
「ほら、こちだよ。のってのって。」  
<ごろろんが、すわったね。>  
<リボンちゃんを、かたぐるまに、のせてあげるんじゃないかな?>  
<リボンちゃん、なきそうだもんね。>  
「1の位のゴンボラ よーし。ピッ。」  
**\* ゴンボラを下ろすように、ゆつくり下にずらして③を全面見せて、**

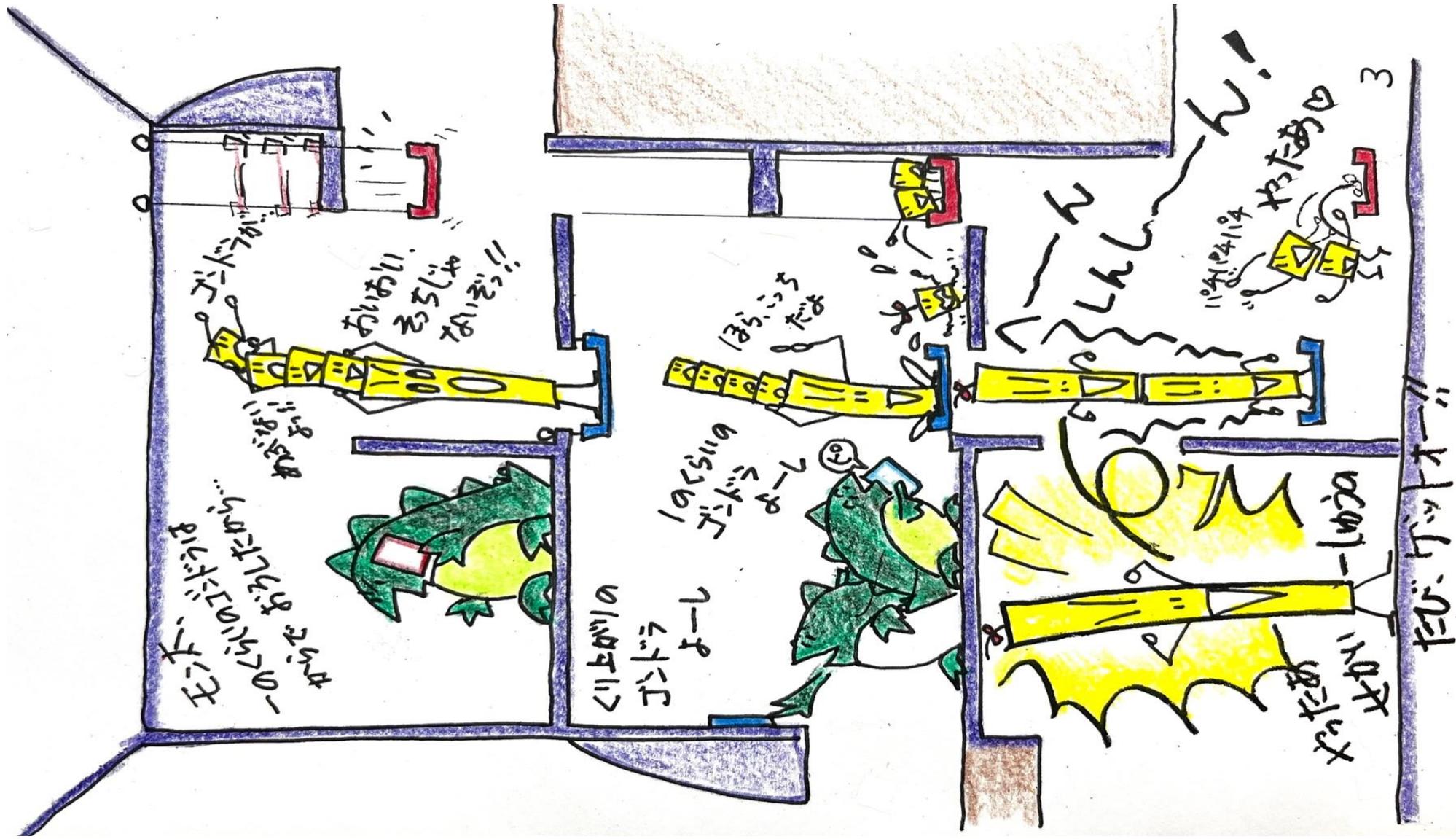


**\* 上段(2階部分)のト書き**

「モン太、ーの位のゴンボラは空で下したから…忙しいぞ!」  
1の位のゴンボラって?  
<赤い、あの、うごいてるやつじゃないかな?>  
「ゴンボラが、おちちやうよお。」  
「あぶないよっ!」  
「おいおい、そっちゃじゃないぞっ!」  
「どういこと?」  
<そつちじゃないって、赤いゴンボラじゃなくて…、あ、ごろろんたち、青いゴンボラにのってるみたいだよ。>  
**\* 1階部分までが見えるようにずらす。**



**③ (②の裏)**



この紙芝居は、子どもたちと一緒に、あなたが紡いでいくものです。一緒に絵を見て、子どもたちからお話を引き出していただきます。友だちや先生と一緒に絵を読み解き、自由に発言したり友だちの気づきに共感したりしながら、楽しんでいってほしいと願っています。

ト書きを読んでもらってもいいのですが、読むというよりは、目の前の子どもたちに語りかけるようにやってみてくださいね。

### <青色>は子どもの反応の例

「世界一周のたびに チャレンジ②」

「おお～、世界旅行かあ。」

「ぼくたち、ごろろんも いないし…。」

「やっぱり、むりかなあ…。」

「たった 3くるるんじゃ、ゆめの また ゆめかもよ。」

<みて、“え～!!”っていつてる くるるん、

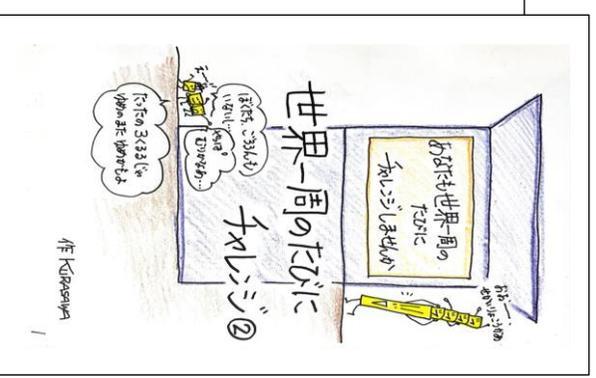
リボーンつけて かわいいね。>

<上が9くるるんだから、せかいいつしゆう

できるんじゃない?>

どういうこと?

<だって、9だから あと 1くるるんでしょ?>



## ① (3)の裏)

\*上部(2階部分)だけ 見えるように